

## 景況実感調査(2015年11月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適切な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

### 薄板・表面処理鋼板

- ① 11月末から12月にかけて、母材を含めてまとまった引合いがあった。(在庫や申し込みを絞っている業者が多いためと思慮)しかし、EG、POにおいては、まだ売り急いでいる業者もある様子。
- ② 輸入材の流入とスクラップ価格が落ち着いても、内需が回復しない限り価格の上昇トレンドにはならないであろう。
- ③ 実働日数19日と、対前月比2日減となり、売上、数量ともにマイナスとなった。下期型向けの物件対応は増加傾向にあるが、絶対量が少なく仕事量が不足しているのは数字上でも明らかだ。とくに建築関連は10%以上のマイナス(前年比)が続いている。ゼネコンの高業績ばかりが目立っており、選別受注の影響もありそうだ。メーカーも元請けも量より質を追求しており、川下は量を求めている。いずれもが持続可能は、モデルは、どこにあるのか。

### 中板

- ① 輸入安値玉が入荷し先安観があり、売り急いでいる業者が散見される。首都圏の大型案件には動きがあるが、民間の建築物件は少ない。年末年始にかけて販売価格は踏ん張りどころだ。
- ② 建機は、メーカーが下期生産を減らしている。店売りの荷動きは鈍く、切板も仕事が少ない。
- ③ 年末にかけて書入れ時の商売が、例年に比べて少なさみしい。大型物件の話はあるが、ゼネコンが仕事を選んでいるので、必ずしも仕事が出るとは限らず、忙しくなるかどうか不安だ。

### 厚板

- ① 民間建築物件と建機の一部に若干の動きがあるが大型物件が少ない。低調な分野が多く、全体的に厳しい状況が続いている。

### 一般開金鋼

- ① 前月が比較的好調だったので、今月の落ち込みは予想以上にインパクトがあった。販売先の工場操業は順調な様子で、荷動きの急減と結びつかない。年末年始の荷動き空白期を控えて憂鬱だ。
- ② 建築物件は出て来る話が多いが、なかなか動きがしぶっている様子。

## H形鋼

- ① 本格的な需要も出ず、販売価格も弱含みで推移している。本来は需要が出る時期だが、出て来ていないので辛抱の時と思われる。
- ② 市況の弱含みは続いているが、下げの余地が無くなってきている感じで、スローダウンしている。在庫も適正なので、そろそろ底が見えてきたのではないかと思われる。

## 異形棒鋼

- ① 低位安定。10月、11月と少し動きは良くなった。売値もほとんど変わっていない。
- ② 昨年と比べて秋需の盛り上がり無く、低調な1年となりつつある。ユーザーとメーカーはしっかり利益を確保しているが、流通はその間で苦戦の連続である。

## 平鋼

- ① 先安観からまとまった引合いが無く、荷動きは低調。後半、スクラップの下落も止まり、相場は弱含み様子見となっている。今月に入ってから在庫補充もやや見られるが、需要が回復したとは言い難い。建築は端境期で荷動きが悪い。

## 軽量形鋼

- ① 店売りが悪いので単価下落が懸念される。
- ② 例年、年末は繁忙期となるが、昨年よりは売上数量、金額ともやや減少。11月末には、一部製造品に売上数量下落が見られる。昨年より繁忙期間が短い兆候あり。

## 鋼管

- ① 10月に回復感が見られたが、11月には再び低調に転じている。

## 構造用鋼

- ① 需要動向については、自動車関連部品は下期回復の期待があったが、軽自動車の減速等もあり、上期並みとなりそうで先々不透明感がある。建設機械関連は低調のまま推移しており、さらに落ち込むことも予想される。工作機械、産業機械関連は、一時ほどの勢いが無く、先行きに陰りが見られる状況である。店売りの荷動きは大きな変化なく、低調な動きが続いている。市況は弱含み横這いで推移している。
- ② 状況は厳しい。荷動きも低調が続く、市況はさらに弱くなっている。

## 鋼材全般

- ① 10月と比べて10%以上下落。10月20日過ぎから11月25日現在で底の状態。電話の鳴りも非常に悪い。12月に向けての見積りも少なく、年内は厳しいと思われる。一部、杭打ち問題もあると思われるが、それだけが原因とは考えづらい。

## その他

### <スクラップ>

- ① 下げ止まり雰囲気は出て来たものの、相変わらず国内外ともにマイナス要因が多く、来年にかけても期待は薄い。

### <金属表面処理加工>

- ① 11月は、紐付きは予定通り。物件物が一部後ろ倒しとなり、次月へ繰り越し。スポット案件については、小口発注が多い状況で、扱い量としては前月と同水準となった。11月中旬以降、引合いは減少気味であるが、年末、年明け納期の物が多く、12月も安定操業が期待できそうである。